

会 議 録

会 議 名	小金井市市史編さん委員会（令和3年度第1回）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和3年5月24日（月）午後2時から2時50分		
開 催 場 所	第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	根岸茂夫委員長 牛米努委員 中嶋久人委員 日高慎委員 住野英進委員 大熊雅士委員		
欠 席 委 員	井上恵美子委員		
出 席 職 員	関生涯学習課長 小野文化財係主任 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 令和2年度事業報告</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 令和3年度の事業計画</p> <p>(2) 「小金井市史年表・索引編」の編集について</p> <p>3 その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 令和2年度事業報告 (資料1)</p> <p>(2) 令和3年度の事業計画 (資料2)</p> <p>(3) 『小金井市史年表・索引編』構成 (資料3)</p> <p>(4) 『小金井市史年表・索引編』【レイアウトサンプル】 (資料4)</p>		

## 会 議 結 果

関生涯学習課長	<p>令和3年度第1回市史編さん委員会を開催いたします。緊急事態宣言発令中の開催ですので、審議の時間については長時間にならないよう事務局運営に努めて参りますので、現下の状況での開催につきましてご理解をお願いいたします。</p> <p>次第に沿ってご審議いただくところですが、令和3年4月1日付けの人事異動により事務局の体制が変わりましたので紹介させていただきます、杉村に代わりまして、小野が配置されました。</p> <p>その他の体制には変更がありませんので、引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>議事進行につきましては、根岸委員長をお願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>審議時間短縮のため、なるべく早く進行してまいりたいと思いますので、ご協力よろしく申し上げます。</p> <p>今年度いよいよ年表編が刊行、ということで、これまでもいろいろご審議いただいていたところですが、少しずつ進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、「1 報告事項 令和2年度事業報告」について、事務局の方から申し上げます。</p>
高木主事(学芸員)	<p>1 報告事項</p> <p>令和2年度事業報告</p> <p>細部は省略させていただき、大まかな部分を中心に説明いたしますので、そのほかの部分については一覧表をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市史編さん委員会</li></ul> <p>令和2年度、市史編さん委員会は、予定通り3回開催いたしました。緊急事態宣言の発出を受け、第1回は、7月に開催しています。会議の中でご審議いただきましたのは、『小金井市史 年表・索引編』についてが主な内容でした。</p> <p>また、市史編さんに際しては、調査員の活動、市民協力員の活動を逐一報告させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市史編纂資料第60編</li></ul> <p>『市史編纂資料 第60編』は過去の市史編さん事業で蓄積してきた市内の石造物の調査成果で、「石造物調査報告」を作成しました。調査の数が膨大でございますので、令和2年度はまず、「(1)」という形で、主に旧小金井村の範囲内に所在する石造物を対象として載せています。時代は近世以降、昭和・平成に至るまでの石造物を掲載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・古文書調査委託</li></ul> <p>古文書調査委託として、梶野家文書の筆写を引き続き行っています。膨大な資料になりますので、今後も引き続き行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民協力員の活動</li></ul> <p>市民協力員は、令和2年度から、閑野氏と美谷島氏に分担していただ</p>

	<p>き、活動をお願いしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中止した事業</li> </ul> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止になりました2つの事業がございます。</p> <p>1つめは「多摩郷土史フェア」、こちらは、東京都市社会教育課長会文化財部会が主催となっており、毎年1月に行われる図書販売会になりますが、こちらは中止となっております。</p> <p>2つめは「地域史講座」（文化財保護事業）で、講座の講師をお願いさせていただいた本委員会の4名の先生方とも検討してまいりましたが、中止とさせていただきます。こちらはまた改めて、「小金井市史を読む」というタイトルで、本委員会の委員の皆様にご依頼させていただきますようお願いしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他報告</li> </ul> <p>『小金井市文化財ブックレット1 小金井の石造物』（文化財保護事業）を発刊することができました。石造物を取り上げるに当たりましては、「石造物調査報告」を活用させていただきました。今後、ブックレットという形で、文化財の視点で、一般の方々に分かりやすく、地域の歴史や文化財を紹介するために、ブックレット形式で、今後シリーズとして発刊していくものです。第1弾では、市民の皆様の需要が比較的高い石造物を取り上げました。1冊200円で販売しております。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。「令和2年度事業報告」につきまして、何かご質問・ご意見等がございますか？</p> <p>石造物の調査は大変素晴らしい成果と思いますが、市史が完成する前に先に完成していると、もう少し市史に活用できたかな、という思いもあり、このような調査を継続的に行うことで、次の市史作成の際に活用できるものと考えますし、このような調査、及び刊行物の作成は是非継続していただきたいと考えます。</p> <p>何か他にございませんでしょうか？</p>
大熊委員	<p>時間ができた際に構わないと思いますが、今後はこのような冊子ではなく、ウェブ上でこのような資料を公開できて、常に子どもたちが目にするることができる、という点が大変大事だと思いますので、今後そのような方向性について市史編さん委員会として後押しをしていただければ、教育委員会としても関連経費の予算化含めて今後事業化を考えていく上で大きな力となりますので、もしこのようなことが重要であるとお考えいただけるようであれば、是非お力添えを賜れば、と思います。</p>
根岸委員長	<p>そうですね。石造物だけではなく、今後も付け加えながら、総合的な文化財、地形、道といったものを見ていくと、だんだんと歩いているうちに実感できていく、市民や子どもたちにとって大変貴重な材料になると考えます。積み重ねられものを単発で作成するのではなく、そのよう</p>

	<p>な部分があると大変良いと考えます。</p>
大熊委員	<p>例えば京都に行って文化財にスマートフォンを翳すと、それが何か、というのが画面上に出てくる。そのレベルまでは求めないが、重い資料を抱えて文化財を見て回る、という時代でもないと考えますので、是非議論の俎上に上げていただければ、と考えます。</p>
根岸委員長	<p>市史の調査としてそのような部分も考えていければ、と思います。</p>
委員一同	<p>他に何かご意見・ご質問はございませんか？</p>
	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。今大熊委員からいただいたお話につきましては、もう少し具体的になってきましたら、もう少し議論を積み重ねてまいりたいと考えます。</p>
大熊委員	<p>よろしく願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>それでは、「2 議題 (1)令和3年度事業計画」について、事務局の方からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>2 議題 (1) 令和3年度事業計画</p>
	<p>・市史編さん委員会</p>
	<p>例年通り年間3回の開催を予定しています。引き続き、市史編さんに関する事、調査に関する事、「年表・索引編」に関する事をご審議いただくこととなります。</p>
	<p>・編集委員会議</p>
	<p>令和2年度から2カ年で進めている「年表・索引編」の編集作業が大詰めを迎えるため、その作業における具体的な作業部会、という位置づけで適宜会議を開催し、委員の皆様にはご協議を行っていただきます。編集委員は、根岸委員長、牛米委員、中嶋委員、日高委員にお願いさせていただきます。</p>
	<p>・古文書調査委託</p>
	<p>令和2年度に引き続き、「梶野家文書」に関する調査委託を行います。</p>
	<p>・書籍刊行物</p>
	<p>『小金井市史 年表・索引編』及び「市史編纂資料第61編 小金井市石造物調査報告(2)」を刊行する予定です。</p>
	<p>「小金井市石造物調査報告(2)」では、貫井村、及び新田の村々の地域を対象としています。ただし、石造物の中で墓標に関しては、現時点で調査継続中であることから、「小金井市石造物調査報告(1)・(2)」の中では触れていませんが、将来的には成果物が纏まり次第報告させていただきます。</p>

	<p>く予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協力員</li> </ul> <p>令和2年度に引き続き、閑野氏・美谷島氏に、市民協働の立場から、市史編さんの資料調査・研究にご協力をいただきます。閑野氏には、現在石造物調査に携っていただいていますので、引き続き追加の調査や写真撮影等にご協力をいただきます。美谷島氏には、主に古文書の調査・研究をお願いしていますので、引き続き古文書の整理等も含めてご協力をいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査員の活動</li> </ul> <p>調査員業務については、現在柏木氏にお願いしています。令和3年度は特に、「小金井市史 年表・索引編」を刊行いたしますので、それに関する資料の収集・調査を引き続きお願いするものです。</p> <p>市民協力員及び調査員の活動は、今後も引き続き、市史編さん委員会の中でご報告させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業、イベント</li> </ul> <p>1点目の多摩郷土史フェアについては、社会教育課長会では、現時点では令和4年1月15～16日の開催を予定しています。</p> <p>2点目の地域史講座(文化財保護事業)は、市史編さん資料や古文書・遺跡情報から地域の歴史について学習する機会を設けるもので、令和3年度は、令和2年度に中止となったことから、引き続き「小金井市史を読む」というテーマで開催できれば、と考えています。開催時期は令和4年1月頃を想定していますが、コロナの感染状況を見ながら、開催可能なタイミングで開催したいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、講師をお願いさせていただく際にご相談させていただければ、と思います。</p> <p>年間スケジュールは、ご覧の通りです。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。「令和3年度事業計画」につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは引き続きまして、「2 議題 (2)『小金井市史年表・索引編』の編集について」について、事務局の方からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>(2) 『小金井市史年表・索引編』の編集について</p> <p>本書の書式は、「通史編」と同様に、「年表編」「索引編」いずれも、「A5版 横書き」のレイアウトで作成する予定です。</p> <p>なお、これまで市史編さん委員会の中では、「箱あり」で検討してまいりましたが、「年表・索引編」は、「箱なし」とさせていただき、なるべく親しみやすい形にできれば、と考えております。</p>

総ページ数400ページで、内訳は概ね「年表編」300ページ、「索引編」100ページです。文字のサイズ（フォント）は、10ポイント程度を検討しています。以上が令和2年度に市史編さん委員会においてご審議いただいた内容を反映したものです。

資料3は、目次構成です。大きくは年表が大半を占めるページ構成となり、第1編に「小金井市史 年表」、続く第2編として「索引」または「通史編索引」という形です。

編集委員会議を開催させていただき、委員会で決定した方針の下に、編集作業を進めていきます。さらに、令和3年8月に編集委員会議を開催し、10月開催予定の第2回委員会の場では、概ね固まった原稿を提示する考えです。

資料4は、「年表・索引編」のうち、年表部分のイメージ（レイアウトサンプル）です。

本日の会議資料として事務局が作成させていただいたものになりますので、今後編集委員会議等の場でレイアウトも含めて協議を行い、完成に向けて進めていきます。

「通史編」に沿って、「原始」「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」という時期区分でそれぞれサンプルを作成しました。

「小金井の出来事」と、「それ以外の出来事」をどのように表記し、表現するか、というところで、仮に「小金井の出来事」を「●」で、「それ以外の周辺・日本・世界の出来事」を「○」または「■」、という形で設定しています。

今後ご審議をいただく中でご意見をいただければ、と考えています。

「読む人にとって一目でわかりやすく」という観点で作成していますので、ご審議いただく際には「読みやすさ」という観点もご配慮願います。

資料4では、見開きの状態のイメージを提示しています。即ち、左右どちらのページも年表を並べる形で編集作業を進めています。

令和2年度までの市史編さん委員会でご審議いただいた中では、左ページに年表を、右ページに写真や図版、地図等を並べるイメージを考えていました。

ただ、全ページをそのような構成にすると、ページ数の関係で肝心の年表の内容を削る必要が出てきますので、写真や図版等については適宜右ページを使う、部分的に挿入する、等を検討しています。

出来事に関する写真や図版等が存在しない場合は、基本的には年表のみの記載となります。もちろん可能な限り資料を探す努力はしますが、基本的には年表重視の構成となります。

市史編さん委員会の場におきましては、イメージをご承知おきいただいた上でご意見をいただければ、と考えています。

入稿は令和3年11月を考えております。その後校正を重ね、最終的には令和4年3月頃の刊行を予定しています。

今後、市史編さん委員会では、編集委員会議で決定した内容について

<p>根岸委員長</p>	<p>報告しつつ、また別途、編集委員の皆様には校正等の内容確認を依頼させていただきます。</p> <p>ありがとうございます。編集委員の皆様におかれましては、この後編集委員会議を開催し、特に年間スケジュール、入稿までの具体的な作業については本日の資料には記載はありませんが、委員の皆様と協議して決めていきたい、ということですので、編集委員の皆様はよろしく願います。</p> <p>レイアウトの体裁につきまして、ご意見をいただければ、と思います。そして、いただいたご意見を反映しながら、この後の編集委員会議の場でさらに検討していきたいと思いますが、皆様それでよろしいでしょうか？</p> <p>それでは、特にレイアウトなどはいかがでしょう？</p> <p>あくまでもレイアウトですが、この形で全部入るでしょうか？少し入りにくい気もしますが。</p> <p>また、これは編集委員会議の場で出すべき意見かもしれませんが、出典が「小金井のとうけい」等であれば構わないのですが、例えば「市史4」というのは昭和40年代に刊行した年表編であり、年表編を出典にしてよいのか、という気もしたのですが。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>現在出典の中に括弧書きで記載しているのは、作業上で転載しているものとなります。実際の作成時には本来の出典、例えば「●●家文書」「市史資料編No.●●」といった出典名で記載します。現在括弧書きで記載している内容はあくまで参考であり、このままの形で記載することはありません。</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>例えば古代については、出典が「書紀」となっているものが多いが、これらはわざわざ「市史資料編No.4」とする必要はなくて、「日本書紀」で良いのではないかと、思ったのですが。この件については後ほど編集委員会議の場で議論させていただきたいと思いますがよろしく願います。</p> <p>他にいかがでしょうか？体裁に関してはこのような形でよろしいでしょうか？多分もう少し活字が小さくなるのかな、という点と、文章については編集委員の先生方に改めてご確認いただかなければいけないと思いますけれども、概ねこのような形で、1ページの中に西暦、年号、月日、出来事、出典が入るといった形でよろしいでしょうか？出典に関しては、項目として設けずとも、出来事の後括弧書き等で入れる形でもよいのではないかと、思います。ものによってはこの出典の枠では足りないものも出てくると思いますので。出典そのものの記載は必要と思いますが、項目にする必要はあるのかな、と思います。</p> <p>その辺りの体裁については、編集委員会議の方で議論する、ということでもよろしいでしょうか？</p>

大熊委員 根岸委員長	大熊委員、子どもたちへの見やすさ、という点でいかがでしょうか？ 少し文字が小さい気がします。
大熊委員	大きさとしては、高校の日本史の教科書に記載されている年表の文字と比べるとかなり大きくなっていると思うんですけども。
根岸委員長	年表は隙間が空いていることも大変重要だと思います。 その辺りについては、編集委員の先生方にご検討いただければ、と思います。
根岸委員長	大きさは「市史」と同一でなければいけないでしょうか？
高木主事(学芸員) 関生涯学習課長	大きさが異なってしまうと、図書館で隣に並べてもらえない、というのはあると思います。もっとも「考古・古代編」は大きい、というのはありますが。
根岸委員長	並べて読んでいただく、ということ想定しています。
住野委員	「年表・索引編」は本来「市史」のシリーズであることを考えると、大きさは合わせた方がいいのかな、と思いますし、この大きさの方が持ち運びの際の利便性、という点でもこの大きさがよいと思います。
根岸委員長	住野委員、イメージとしてはいかがでしょうか？
住野委員	単体で見ると、文字が大きい方が見やすいと思いますが、シリーズで並べた際に1冊だけ規格がずれている、というのは違和感があると思われ、非常に悩ましい。
根岸委員長	その辺りについては、編集委員の先生方にご議論をいただければ、と思います。
根岸委員長	「索引編」は、本来は「通史編」に付いているはずだった部分なので、「通史編」と一緒に置いておけるものでないと、あまり存在理由がなくなってしまう。
委員一同	そのようなことを勘案しながら、今後編集委員会議の場で議論させていただく、ということよろしいでしょうか？
根岸委員長	(異議なし)
根岸委員長	ありがとうございます。それでは編集委員の皆様におかれましては、この後、編集委員会議を開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。
関生涯学習課長	それでは、「その他」につきましては何かございますか？
根岸委員長	事務局からは特にはございません。
委員一同	委員の皆様からは、この場で特にお話されることなどございますか？
根岸委員長	(特になし)
小野文化財係主任	それでは、次回の会議の日程はどのようになっていますか？
根岸委員長	令和3年度第2回 市史編さん委員会につきましては、令和3年10月11日(月)午後2時から開催させていただきたく思います。
委員一同	委員の皆様はご都合いかがでしょうか？
根岸委員長	(異議なし)
根岸委員長	それでは、その日程で予定させていただきたいと思います。 以上で、会議を終了します。ありがとうございました。



